

## 『図解プログラミング教育がよくわかる本』 監修 石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長) 発刊のお知らせ

2017年7月28日(金)、講談社よりCANVAS理事長石戸奈々子監修『図解プログラミング教育がよくわかる本』が発売されました。ぜひ貴社媒体を通じて、本書を広くお知らせいただきたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

### 概要

**家庭で学校で子どもと一緒に体験しよう！  
イラスト図解で楽しく学ぶ。はじめてのプログラミング教育！**



子どものプログラミング教育に注目が集まっています。小学校で2020年度から必修化されることが発表され、都市部を中心に民間教室が急増しています。あらゆるものがインターネットにつながり、テクノロジーの重要度が増すなかで、子どもたちにとってプログラミングが、「読み書きそろばん」と同じくらい重要になってきています。

本書では、家庭で実践するときのコツや民間教室の活用法、学校現場への導入のポイントなどを、実例もまじえながら広く解説。「そもそもプログラミングとは」「プログラミング教育で子どもの将来はどう変わるのか」「親や先生が今すぐできることはなにか」など“はじめてプログラミング教育と向き合う”ときに役立つ一冊です。

子育て中の保護者の方から、これから導入を考えている小学校の先生方、プログラミング教育に関わっている教育関係者の方まで活用していただけます。

#### 【書籍データ】

健康ライブラリースペシャル

『図解プログラミング教育がよくわかる本』

監修:石戸奈々子

発売日:2017年7月28日

定価:本体1,300円(税抜)

発行元:講談社

## 【本書の内容構成】

- 1 プログラミング教育とはなにか
- 2 家庭で遊びながら学べるもの
- 3 小学校での実践がはじまっている
- 4 なぜいま子どもたちに必要なのか
- 5 プログラミング教育の効果とは

詳細は講談社ホームページをご確認ください。

<http://bookclub.kodansha.co.jp/calendar>



## 【監修者プロフィール】



石戸奈々子(いしど・ななこ)

NPO法人CANVAS理事長。東京大学工学部を卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員などをへて、2002年に子ども向けの創造・表現活動を推進するCANVASを設立。現在、株式会社デジタルえほん代表取締役、総務省情報通信審議会委員、慶應義塾大学准教授などを兼務。専門は子どもたちへのデジタル教育。ウェブメディアやテレビ、新聞、ビジネス誌などへの出演・コメント多数。

理事長を務めるCANVASでは創造的な学びの場を産官学連携し提供している。これまでに開催したワークショップは3000回、約35万人の子どもたちが参加。幼児や小・中学生向けのプログラミング講座も多数展開しており、子どものプログラミング教育に詳しい。総務省と文部科学省でプログラミング教育関連の委員を務めている。主な著書に『デジタル教育宣言』(KADOKAWA)、『子どもの創造カススイッチ！』(フィルムアート社)など。

## 本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

### 特定非営利活動法人CANVAS



CANVASはこどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。これまでおよそ35万人のこどもたちにワークショップに参加いただきました。こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

CANVASホームページ <http://www.canvas.ws>

問い合わせメールアドレス [information@canvas.ws](mailto:information@canvas.ws)